

1年



5月17日(金)

遠足



2年

3年













八高PTA会報

編集発行
愛媛県立八幡浜高等学校
PTA広報委員会

..... 八幡浜高校芸術発表会

八高サマーフェスタ 2024

6月15日(土)

















「仲間たちと」

聖流ブロック保護者 曾根 慎也



「お父さん、原稿書いてくれん?」「いいよ。」から始まったやり取りで、我が子が体育祭でブロック長をやることを知った。

部活動を引退した後の夏休みから、体育祭の準備や練習を行っていたことは知っていたが、まさかブロック長とは。これまで、コロナ・仕事で参観できなかったたので、初めての体育祭に、親として不安でドキドキした。

体育祭当日、入場行進から始まった。工夫を凝らした行進は、観客にもウケが良くスタートを切った。プログラムが進行していく中、最後まで諦めず、一生懸命競技していく生徒たちの姿に感動した。

残念ながら、聖流ブロックは、総合優勝できなかった。当然、競技には勝者・敗者が決まってくる。けれども、全力で競技した生徒たちには、心から盛大な拍手を送りたい。

体育祭へのこれまでの過程には大変意義があると思う。暑い中、仲間たちと体育祭の準備に精を出す。仲間を思い、本番に向けての練習に手を抜かない。みんな、自分たちの体育祭を、つくりあげて楽しむ。体育祭後、ブロック長として、やり切った我が子の顔をみて、すべて出し尽くしたんだなとホッとしました。

なかと忙しい高校生活の中で、仲間たちとの忘れられない体育祭を、大切な思い出として心に刻んでほしいと思った。

最後に、生徒たちを励まし、支え、指導していただいたたくさんの人たちに、心より感謝、御礼申し上げます。



「最高で最後の体育祭」

柏皇ブロック保護者 大田倫苗子

例年にならない猛暑の今年。それ以上にもっと熱くなった今年の体育祭。

一学期も終わりの頃。帰宅するなり、娘「ヤバい、ブロック長になってしまった。なんで、私なんやろう?」

私「えっ?」長つて、普通、男子がするものじゃないん?」多様性の時代、男女関係ないとはいえ、我が娘にまとめる事なんて出来るのだから不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし、準備期間中、意見がぶつかり話が進まないこと。なかなか思うようにまとめることが出来ず、少しづつ応援がまとまって来たこと。応援の衣装をカッコ良く作ってもらったこと。毎日のように報告してくれる姿は、日が経つにつれ凛々しくも思えて来ました。

体育祭当日。真剣勝負の競技。アイディア満載の仮装。迫力あるパネル。一人が熱く励み応援。一人一人が熱く楽しめました。懸命の姿に感動しました。

そして私自身、長男の保育所の運動会から二十年も渡り参加して来た行事になつて最後の体育祭に。胸が熱くなりました。

結果は総合二位。たくさん悔し涙が溢れました。張った証拠だと思えます。

最初は「無理」と言っていた娘が、終わって良かった!と。これは、周りが支えてくれる仲間がいて、共に大切な時間を過ごす事ができたから。実感して成長できたから。その言葉だと思えます。

ホントに、暑かったが、最高の体育祭でした。最終的に、猛暑の中、ご指導いただきました先方、お世話になった方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



「仲間」は財産

八翔ブロック保護者 堀口 光代

ブロック別のカラフルなシャツで入場してきた生徒たちの姿は、とても生き生きと輝き、クラス毎の想いが描かれたバツクプリントからは団結力が溢れていました。

ラジオ体操では指揮者である体育委員長のキレのある動きに目が奪われ、その後、競技も一瞬たりとも目を離すことなく見届けようと思えました。競技の部では、他のブロックに押され気味の八翔ブロックでしたが、仲間と励まし合い、みんな笑顔で駆け抜けていました。

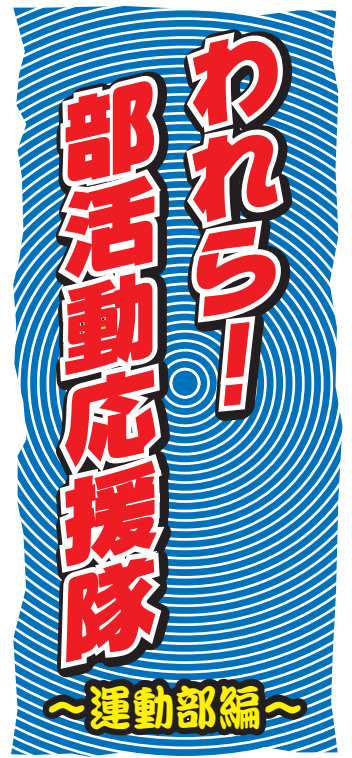
そして応援の部、とても力強く息の合った演技で、今まで練習してきたことを出し切ろう、今を楽しもうという様子が伝わり、とても感動しました。これもみんなで夏休みの暑い時期から相談し合い助け合い取り組んできた成果だと思えます。

また、躍動感のある装飾、笑顔あふれる仮装も八翔の仲間を後押しし、正直優勝することは難しいと思っていた閉会式で八翔の名が呼ばれた瞬間、みんなの弾ける笑顔、沸き起こる歓声、最高でした。

多くの仲間と支え合い助け合った体育祭は、みんなにとって忘れることのない思い出になったことと思います。これからの進路においても多くの人と出会い、同じ経験や時間を過ごし、多くの仲間を作ってほしいと願っています。

先生方やお世話になった全ての方には、いつも温かく見守っていただき本当にありがとうございます。今後も引き続きご指導よろしくお願ひします。





応援しています

陸上競技部 樋口 美和
保護者

初心者マークの陸上競技部員となりました。素晴らしい記録で四国大会を突破した先輩方に同行し、いきなりインターハイへ。興奮して戻ってくると、自分もこの大きな舞台に立ちたいと練習に励んできました。八高陸上競技部一丸となって臨んだ総体。見事インターハイへ進出した選手たち、敗れた選手たちの分まで思う存分闘ってきてください。そして伝統を引き継ぎ、今年も都大路目指して、まだまだ走り続けてください。応援しています。

これまで、熱心に粘り強くご指導くださった先生方、先輩方、共に励んだ仲間たち、競技場へお運びくださり熱い声援をくださった皆様、保護者等の皆様、全ての方々に深く感謝いたします。八高陸上競技部を引き継ぐ後輩諸君のこれからの素晴らしい活躍に期待しています。

本当にありがとうございます。陸上競技部でのたくさんの貴重な経験を次に活かして進んでください。ずっと応援しています。



仲間とともに

女子弓道部 橋本 梓
保護者



高校生活とともに始まった弓道部での生活。この競技は奥が深く、手元の弓が少しでもずれたり、自分の心に迷いが出たりすると、矢はとんでもないところに飛んでいってしまいます。矢の行き先は自分の精神力、集中力に左右されることを日々の練習で感じ、鍛えようと努力を続けてきた仲間たち。そんな自分との戦いがこの競技の魅力であるということを感じても娘の成長とともに感じることができました。うまくいかず苛立ちを見せていた娘も、共に悩み、時にはぶ

つかり合いながら切磋琢磨できる素敵な仲間と出会うことができ、弓道を通じて本当によかったと感じているようです。どのような時にも頑張り合えた仲間は、一生の宝物になることでしょう。日々の練習を支えていただいた先生、毎日の我が子の頑張りを見守っていただいた保護者等の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。今後の後輩たちの活躍を願っています。

ありがとうございます

男子テニス部 菊池 真美
保護者

高校に入学して硬式テニスと出会った子どもが大半で、「一年生十三名入部した!」と聞いた時は、その大人数に驚きました。ソフトテニス経験者は、硬式テニスとのフォームの違いに苦戦し悩みながらも練習に励んでいました。南予大会、県大会と試合を重ね、観戦に行くたびにチーム全員が力を付けて、自信を持って精一杯プレーしている姿に胸が熱くなりました。

三年間の部活動を通して、つらい時こそ諦めないこと、仲間を思いやる気持ち、先輩や後輩、他校の友人と仲良くなれたこと、全ての時間がかけがえのないものになったことでしょう。三年生の皆さん、お疲れ様でした。

いつも温かく見守ってください。ご指導いただきました都築先生、励まし応援してください。保護者等の皆様、本当にありがとうございました。



「継続は力なり」

男子ソフトテニス部 本田加津美
保護者

三年生、お疲れ様でした。そして、三年生を支えてくれた一、二年生、本当にありがとうございました。部活と勉強の両立、日々の部活動に対するモチベーション、ケガや体調管理、色々悩みはありましたが、三年間ソフトテニスを続けた息子の追っ



かけをさせてもらって、私も有意義な時間を過ごすことができました。

四国大会の切符を手にするとはできませんでしたが、最後の最後まで諦めることなくコートに向き合う姿勢は格好良かったです。

これからは、次のステージに進めるよう後輩に託したいと思います。

三年生は、新たに目指す道へと向かって、頑張ってください。

今まで、温かく見守ってくださった平家先生、浮田先生、保護者等の方々、OBの皆さん、今までありがとうございました。

先、ソフトテニスがしたいです……

女子ソフトテニス部
保護者 川口 博子



「ソフトテニスがしたい」その思いで、しばらく活動のなかったソフトテニス部を再開させてしまいました。初めは、部室もテニスボールもなく、大会に出られるだけの部員もなく、どうなることかと心配しました。そこから、一緒に喜び、一緒に泣き、一緒に努力してきた仲間ができた。一生の宝物もできました。いろいろな大会でも、アドバイスや激励を仲間を送り、思いを一つにして勝ち進む姿に何度も感動してきました。たくさん悩み、話し合い、何もないところから立ち上げていったパワーや頑張りは、これから歩いていく中で、大きな自信となる



いぞ！絶対調!!

男子バスケットボール部
保護者 村越 亮太

ことと思います。こんなに頑張った娘たちを誇りに思います。

また、支えてくださった荒井先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。試合中に「あきらめるな！ここから！」の先生の声援は、これからも娘たちの心の支えになると思います。先生方、保護者等の方のおかげで充実した部活動ができました。ありがとうございました。

四分間に懸ける

ダンス・バトン部
保護者 吉川 絵理

大会やコンテストに向けて練習に励む日々。先生が撮影してくださった動画を数秒単位で見返してはメモをとり、また動画を見てを延々と繰り返す娘。「お母さんにも見せて！」とその動

新チーム結成の時、「南予新人優勝。南予総体優勝。そして県ベスト8になります!!」と先輩たちの前で宣言しました。

なかなか思うようなプレーができず、練習試合のたびに先生に怒られ、いつも帰りの車の中で悩んでいました。そんな時もいつも近くに来てくれたのが三年生でした。この四人だからこそ、今のチームの雰囲気を作り上げたと思っています。

試合になるとチームメイトが本気で喜び、マネージャーからは「いぞ！絶対調!!」といつも変わらずの日本一の応援団。

結果は、県ベスト8。まさに有言実行。

指導していただいた渡邊先生、いつでも盛り上げてくれた保護者等の皆さま、本当にありがとうございました。

最後にこの場をお借りして息子に一言。

「バスケを始めて約九年。君のフリースローを安心して見られる日はきますか?」



画をよく見せてもらいました。

四分間の演技のために、数ヶ月前から練習が始まり、振りや構成に工夫が重ねられ、個々の表現が豊かになっていき、それでいて一体感が増す。確実に進化していくダンスに見惚れるばかりでした。先生方やコーチのご指導と仲間の努力の賜物だと思います。そんな過程を経て最後のステージは、親として感動と感謝で胸がいっぱいになりました。

四分間に全てを詰め込み四分間で全てを出し切るために、たくさん悩み、仲間と助け合ったり衝突したり、多くの方々にお力添えをいただいたり。その全てがかけがえない経験となりました。ダンス部を支えていただいた先生方、コーチ、保護者等の方々、部員のみなさん、本当にありがとうございました。

続けることの大切さ

柔道部
保護者 三好 基文



合ってきたことは本人にとつてかけがえのない財産になったのではないかと思います。講道館柔道創始者である嘉納治五郎の「自他共栄」「精力善用」の言葉どおり、今まで培ってきた力を、今後、他者の為、社会の為に使える人になってほしいと願っています。

「繋げ!」

女子バレーボール部
保護者 大田倫苗子

映画「ハイキュー!!」や、ネーションズリーグで、バレーボールが注目されていた真つ只中、県総体に進んだ八高女子バレーボール部。
一回戦は、今治北高。二一で、辛勝!

そして、二回戦。相手は、優勝候補No.1の強豪、松山東雲。

一人一人が、それぞれの想いを持ってコートに立っていたはず。決めてやるんだとスパイクを打ち、相手エースの攻撃にもひるまずブロックに飛び、ボールを落とさないと最後まで諦めずつないでいった一つのプレー。コート外からもプレーを盛り立ててくれる必死の応援。二十一人の部員が一つになつていて姿をみて、胸が熱くなる想いでいっぱいでした。

小学校から始めたバレー。コロナ禍で思うように部活動が出来なかつた中学時代。そして、バレーがしたいから!と選んだ

八高。順風満帆ではなかつたけれど、その分、強くなつたはず。そして、最後まで頑張れたのは、先輩や仲間、支えてくれた人達がいってくれたから。この感謝の気持ち忘れず、これからの目標に向かって進んでほしいと思います。

最後に、ご指導いただいた先生方、送迎などご協力いただいた保護者等の皆様、いつも応援して支えてくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



PTA親睦ソフトバレーボール大会

大洲 辻 亜美

六月二十二日にPTA親睦バレーボール大会が盛大に行われました。参加された先生方、保護者等の皆様お疲れ様でした。結果は愛宕・大洲連合チームが優勝しましたが、母校からは私一人の参加でしたが、母校が愛宕中ということを配慮いただき、愛宕の皆さんと一緒にさせていただきました。温かい雰囲気、いい汗をかくことができました。学生時代にお世話になった菊池博喜校長先生も同じチームでした。話してさすは三十年前と変わりましたが、PTAのコーディネート先生はバレーだけでなく日本語もとても

上手でした。若い先生方の活力あるプレイのおかげで全勝優勝できました。夜はおいしいお酒で優勝を喜び合いました。高校生の子どもたちのキラキラ輝きに負けないぐらい先生方も保護者等も輝いた一日になりました。企画、準備等大変お世話になりました。ありがとうございました。



四国高等学校総体

水泳から養われた人間性

水泳部 三年 小原 知也

水泳部全員が四国総体に出場し、各個人が持つ目標を達成しようとした大会になりました。僕個人としては、目標の100m、200mバタフライで決勝に残るという事は叶いませんでした。高校最後の大会で予選敗退となりました。とても悔しい結果となりました。

先輩がいなくなり僕が主将として活動するようになってから、自分が主将としてやっていくのか不安を感じる毎日で、競泳自体を辞めたくなるときもありました。そんな苦境のなか、周りにいた仲間たちの存在に僕は励まされ合いました。お互いに励まし合うこと、協力して苦労

を乗り越えること、そして何事にも全力で取り組むこと。結果が報われなくても、努力した過程は決して無駄にならないこと。この十四年間の競泳人生を通してその大切さを学び、これからの人生にも通ずるものを得ることができました。
ここまで水泳を続けることができたのは、仲間、家族、先生、応援してくれたい人たちの支えがあったからです。泳ぎ抜くまで温かく見守っていただき本当にありがとうございました。



PTA 理事

Table with 2 columns: 地区名, 氏名. Lists PTA members from various districts like 江戸岡, 矢野町, etc.

Table with 2 columns: 地区名, 氏名. Lists PTA members from districts like 日土, 喜須木, etc.

令和6年度 Parent・Teacher・Association 役員

Table with 3 columns: 役職, 氏名, 地区名. Lists executive roles like PTA顧問, 会長, etc.

(敬称略)

5月15日(水) PTA理事会 (専門委員会)



成瀬会長を中心とした3役員と各地区より選出された31名の理事、先生方で5つの専門委員会を組織しています。

Table listing five committees: 校外生活指導委員会, 研修・人権教育委員会, 広報委員会, 厚生保健委員会, 学年委員会, each with members.

四国高等学校ワイプロ競技大会

新しい挑戦 ビジネス部 三年 坂本 美優

部内の目標であった「四国大会出場」を達成して臨んだ大会でした。私はミス...

毎日の練習の中でなかなか記録が伸びず悩む時期もありました。仲間と切磋...



NHK杯全国高校放送コンテスト(朗読部門)

放送部 二年 木村 美月

私は、七月末に開催されたNHK杯全国高校放送コンテストに朗読部門で出場...

しているプロのように思えました。そんな人たちの朗読やアナウンスを、ただ単に...



福岡総体2024

四国優勝を経験して

陸上競技部 三年 二宮 大響

僕は今回四国優勝という貴重な体験をすることができました。中学生の時は野球をしており、高校で初めて本格的に陸上を始めました。

一年生の時は、総体に出場することができず、選手の応援をする立場として先輩方の走りを見ました。自分も早く先輩のように走りたいという気持ちで練習に励みました。新人戦では自分も選手という立場で八〇〇mに出場しました。

ここでは、全体の五位という結果で惜しくも四国新人に出場することができませんでした。しかし、一六〇〇mリレーの補欠メンバーとして四国新人に参加し、その時初めて四国という舞台の雰囲気を感じることができました。「来年の総体は絶対に四国大会に出場する」という目標を立てて練習に取り組みました。

二年生の時の県総体では、結果全体で七位と四国大会に出場することはできませんでした。その時からずっと「四国優勝」を目標に練習に励みました。夏には新たに取り入れた補強を毎日し、筋力強化に取り組みました。二年生の新人戦の結果は四〇〇mが三位、八〇〇mが二位と去年とは全く違

う結果となりました。しかし、その後コロナになり四国新人では四〇〇m予選敗退、八〇〇m三位という結果になりました。結果として表彰台に上ることはできませんでしたが、とても悔しかったです。それからさらに練習に励みました。冬季練習で自分の限界に挑戦し途中で気持ちが折れそうになりながらも、絶対に四国優勝してやるという気持ちが強くあったため、最後までやりきることができました。

そして三年生の総体では八〇〇mで四国優勝することができました。今まで目標としていたことが実行することができ、すごく達成感がありました。しかし、全国の舞台では周りのレベルの高さに圧倒され、いい走りをするこ

きませんでした。自分にはまだ国のリベンジができるようにさらに練習に励んでいきます。



ぎふ総文2024

全国高文祭に参加して

文芸・新聞部 三年 市尾なごみ

八月二日から四日にかけて、第四十八回全国高等学校総合文化祭文芸部門(散文部門)に参加しました。自然豊かで、伝統や歴史の色が大切に残されているこの街で過ごした時間はとても貴重なものでした。

二日の文学散歩では、飛騨の里、古川まつり会館などの歴史を感じられる場所や、映画「君の名は。」の舞台になった場所を見学しました。猛暑の中ガイドをしていただき、最後にはみたらし団子と菓草茶もいただきました。古川の人々の伝統を大切に、地域を愛する心に触れた時間でした。また、他県の参加者とも交流でき、同世代の創作者と話すことができたのは

とてもいい経験でした。三日の分科会では、参加者一人一人の作品に対して、講師の中村航先生、作道雄先生から講評をしていただきました。他の参加者の作品に対してのアドバイスなどから新しい発見をたくさん得ることができました。他の作品がどれも魅力的で緻密に作りこまれていたのが自分の作品が講評される時間が近づくととても緊張しました。中村航先生から、作中に登場する名曲の選び方や登場人物の名前の付け方など、固有な詞の作り方や使い方を褒めていただき、予想



外のことでとても驚きましたが、登場人物の背景や、情景の空気感を表現できるようこだわった点だったので嬉しかったです。私はこの大会で多くのことを学び、貴重な体験をたくさんさせていただきました。ことばにたくさん触れ、真剣に向き合えた時間でした。暑い中、運営をしてくださった皆様をはじめ、支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。総文祭も含め、この三年間の部活動で学んだことや感じたことを今後の学びや生活に活かしていきたいです。



全国高等学校ビジネス計算競技大会(電卓)

全国大会に出場して

ビジネス部 三年 畑山 陽菜

検定勉強になるなら、と入部したビジネス部でした。入部当初は、電卓のキーを正確に叩くことだけでも精一杯で、大会に出ることができたのか不安でした。

しかし、先輩方や顧問の先生に教えていただきながら、少しずつ成長することができました。そして練習を重ねるうちに、大会で優勝したいと思うようになりました。また、自分が先輩という立場になってからも、良い先輩、良い仲間恵まれて二年連続の全国大会出場を果たすことができました。二年生のときに初めて全国大会に出場したときは、県大会や四

国大会とはまた違った大会の雰囲気やレベルの高さに呑まれ、自分の力が発揮しきれず悔しさが残りました。今年、昨年よりも良い結果を残すことを自分の目標にして臨みました。結果は、入賞には遠く及びませんでした。しかし、昨年よりも順位を大きく上げることができたこと、実力の高い選手の皆様と一緒に競技できたことに対する喜びや達成感が大きかったです。

私は三年間の部活動を通して、何事も地道に努力を続けることの大切さ、目標達成のために本気になることの素晴らしさ、そして同じ目標に向かって共に頑張る仲間がいることの心強さなど、たくさんの学びを得ることができました。これらの学びは、私の大切な思い出であり財産です。今まで支えてくださった先生方、応援してくれた家族や友達、そして一緒に頑張ってきた部の皆には本当に感謝しています。毎日良い雰囲気の中で練習することができて幸せでした。本当ありがとうございます。これからのビジネス部の活躍を応援しています。

